

2015.11 発行：てんかん院内認定看護師

てんかん学会での講演

10月30、31日に日本てんかん学会が長崎で開催されました。「多職種を支えるてんかん診療」シンポジウムにて、当院で行っているてんかん学習プログラム(MOSES)を通じた多職種の連携を発表させていただきました。職種を越え、患者さんを中心に考えたてんかん診療を改めて学ぶ機会となり、今後のてんかん認定活動への良い刺激となりました。



来月の活動予定

12月22日(火)に認定活動を行う予定です。取り組みの現状として、長時間脳波検査用のオリエンテーションDVD運用に向けての準備と、今後の看護研究の方向性を話し合っていきます。より良いてんかん看護を目指して活動しておりますので、勉強会や病棟での活動などご希望がありましたら、てんかん認定看護師までお知らせください。

専門看護研修を終えて

今年度より、より専門的な知識を持った看護師育成のための研修が計画され、院内てんかん認定看護師が講師をさせていただきました。第1回は、てんかんの基礎知識として、当院に与えられた専門病院としての役割や、てんかんの診断・治療内容を意識した看護の介入方法についてお伝えしました。第2回では、抗てんかん薬の服薬管理にスポットをあててお話ししました。てんかん治療の第一選択されることが多い薬物治療ですが、薬物調整を行うにあたり入院される患者様に対し、看護師としてどのような対応が必要とされているのかを考える機会になれば良いと思い計画しました。日々の患者様との関わりの中で、患者様や家族から毎日の内服に対する負担や不安について耳にすることが良くあります。そこで得た情報を、専門的知識と共に考え、患者様の生活の質が向上するようなアイデアを提案し、必要があれば主治医やコメディカルスタッフと情報交換をして包括的なてんかん医療を提供できるようなお手伝いができることが大切だと考えています。毎日の内服管理は、大変なこともあるかと思います。そういった患者様の思いを聞かせていただきながら、それぞれの生活に合った内服管理方法を共に考えていくことができるよう、今後も取り組んでいきたいと思っています。

仕事が忙しくて、薬を
飲むのを忘れちゃう…

